

松陽地区 コミュニティだより

松陽地区の活性化を目指して



松陽地区コミュニティ
推進協議会 会長
立崎 享 一

令和4年9月14日松陽小学校体育館で「松陽地区コミュニティ推進協議会設立総会」が開催され、設立まで準備してきた経緯もあり会長に選任されましたが、今さらながらその職務の重責に痛感しているところです。

さて、なぜ松陽地区にコミュニティの組織を作らなければならなかったのか、それは平成29年に高崎経済大学の櫻井教授が松陽地区の「地域づくり懇談会」で少子化により、40年後は十和田市の人口が60,000人から33,000人に、我が地区は1,100人からなんと310人まで減ってしまうという衝撃的なお話があったことです。本当にそうなるのでしょうか大きな疑問を持ちましたが、そうなった場合に現在の町内会の活動はどうなっていく

のか、また地区内で活動してきたPTAや体育振興会、防犯協会そして保健や福祉活動が停滞するのではない心配して来たところです。

このまま何も手を打たなければ松陽地区は衰退してしまうという危機感から町内会長協議会や健全育成協議会、各団体の皆さんと協議を重ねて今後の松陽地区の活性化を図っていくことで合意し、数回にわたり組織の在り方や予算、事業や運営方法など具体的な話し合いを進めてきました。

ところが、新型コロナウイルスの感染が広がり、当市でも多くの感染者が出たことから立ち往生していましたが、市長も市議会でも松陽地区もコミュニティの機運が盛



編集発行/
松陽地区コミュニティ推進協議会
■住所/十和田市大字
八斗沢字砂土路14-161
TEL. 0176-27-2705
FAX. 0176-20-7040

り上がっており、積極的に支援していただきたいと答弁されたことを聞き、後押しされ、ようやく感染が収まりかけた時期に、感染対策を徹底して行いながら設立総会を開催することが出来ました。

当日は80名を超える多くの皆さんが参加され、小山田市長や升澤市町内会連合会長も祝辞の中で大きな期待を寄せ下さいました。

ご承知のとおり、松陽小学校が統廃合により来年3月で閉校になり、50年間続いた学校が無くなることに一抹の寂しさを覚えますが、今後はコミュニティ活動の拠点は閉校後の小学校にしたいと考えております。市でも地域で利用するならば小学校は取り壊さず残したいとの方針ですから、今後も市の支援と指導をいただきながら活動を展開して参りますので理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、松陽地区のコミュニティは、11町内会、PTA、体育振興会、防犯協会や関係団体、機関、保健や福祉関係者などと連携を図りながら「誰もが安心して暮らし、生きがいのある松陽地区」を創っていきたいと考えておりますので、立ちあがったばかりのコミュニティに皆さんの「知恵」と「パワー」を賜りますようお願い申し上げます。

松陽地区コミュニティ 推進協議会の設立を祝して



十和田市長
小山田 久

松陽地区コミュニティ推進協議会の設立、誠におめでとうございます。

立崎会長をはじめ会員の皆様には、日頃から住みよい地域づくりにご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり、人口減少・少子高齢化の進展により、高齢化率の更なる上昇も見込まれている中、町内会や各種団体の活動において、担い手不足や近所付き合いの希薄化など地域課題が深刻化し、活動を維持することが困難となっている地域もみられております。

このような中、全国では、地域の人々や各種団体が一体となった「地域主体のまちづくり」が進められているところであり、当市におきましても、将来を見据え、近隣の町内会や関係団体が連携・協力し、個々の町内会活動を補完する、概ね小学校区を単位とする広域コミュニティの組織づくりに取り組んでいるところでございます。

市内ではこれまで、南小、法奥小、東小、三本木小の4つの学区において広域コミュニティが設立されており、それぞれがその地域性を生かした独自の取組み

を行っております。

松陽小学区におきましては、平成29年度から松陽地区町内会長協議会をはじめ、地域の様々な団体が、将来にわたって持続可能な地域団体のあり方について積極的に意見を交わし、検討を重ね、合意形成がなされたと同様にしております。関係者の皆様のご尽力に心から敬意を表します。

地域で生まれ、地域で育ち、地域を助け、安心して老後を迎えられる持続可能な地域社会の実現を目指し、当地域全体での取組みが進展することを期待申し上げます。

市といたしましても、皆様の主体的な取組みを応援しながら、市民と行政の協働による「元気な十和田市」を実感できるまちづくりを進めてまいりますので、今後ともお力添えをよろしくお願い申し上げます。

結びに、松陽地区コミュニティ推進協議会のみならずのご発展と、当地区の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。お祝いの言葉といたします。

松陽地区コミュニティ活動に期待するもの



十和田市町内会連合会 会長
升澤 博也

松陽地区コミュニティ推進協議会の発足、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

さて、人口減少と少子高齢化が進む中で町内会活動の後継者問題など、単位町内会だけでは今まで通りの活動が難しい状況が見受けられています。地域の将来を見据え松陽地区11町内会や、各種団体が連携して一緒に活動する組織として結束されたことは、一歩前進した証であると思います。

私は、単位町内会、広域コミュニティなどみんなが協力し、支え合うこと。地域みんなが笑顔で暮らせる元気なまちであること。それを願ひ町内会連合会では「みんなで創る地域の底力」をスローガンとし活動しております。

自分たちのまちは自分たちで守り、自分たちでできることは自分たちで行う。そして地域の皆さんでできないことは、行政と一緒にやっていく、それが協働のまちづくりだと思いますので、みんなで創っていきましよう。

コロナは、いまだ収束したとはいえない状況が続いています。町内会活動や各団体の活動が制限されるなど大変厳しい状態が続いておりますが、地域の団体と連携し、コロナに負けない地域づくりのために励んでいただきたいと思います。

結びに、松陽地区コミュニティ推進協議会のみならずのご発展と関係者の皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

松陽地区の新たな発展を祝す



十和田市立松陽小学校 校長
新堂 正一

松陽地区コミュニティ設立にあたり、松陽小学校を代表して心からお祝いを申し上げます。

本校は、皆様ご存じの通り、今年度50年の歴史に幕を下ろすこととなりますが、創立50周年という記念の年でもあります。その記念すべき年に松陽地区コミュニティが設立されるという事は、学校は閉校となりますが、また新たな歴史が始まります。そして、これまで以上に「地域のつながり」が深められていくこととなり、この上なく喜ばしい限りです。

この度、松陽地区コミュニティの初代会長に就任された松陽地区町内会長協議会会長の立崎享一氏が、本校20周年事業協賛会会長として記念誌に寄せ

られたお言葉を紹介させていただきます。立崎氏は当時「創立20周年を迎え、新たな飛躍」という表題でご挨拶のお言葉を寄せられております。その終りの箇所では、次のように述べられています。

「私たちは、この20周年を節目とし、健やかな子供たちを育て、そして、『潤いとまとまりのある松陽地区』を作っていくために、学校を拠点とし、PTA、子供会、体育振興会、防犯、そして町内会などあらゆる団体を網羅しながら松陽の伝統と校風を守り続けて参りたいと思っております。」

あれから30年たとうとしています。その志は歴代のPTA会長の皆様に脈々と受け継がれてきました。おかげで本校の教育活動はもちろん、地域のつながりと発展に大きく貢献されました。今後、全国的に少子高齢社会がさらに進む時代となりますが、松陽地区コミュニティを中心に地域で暮らす皆様一人一人のお力により、「潤いとまとまりのある松陽地区」として、ますます発展されることを心から願っております。

最後になりますが、これまでの長きに渡り、松陽小学校を支えてくださいました松陽地区の皆様からお礼申し上げます。松陽地区コミュニティ設立へのお祝いの言葉といたします。

事業計画

今後確実に迎える少子化に対応するため、農村地域の特性を活かした地域と人とのつながりを大事にしなが、景観の保持と環境の保全を図り、さらには子どもから高齢者までが生きがいを持つ地域を創生し、うるおいとまとまりのある地域社会をすすめ、コミュニティ活動を展開していきます。

具体的な事業

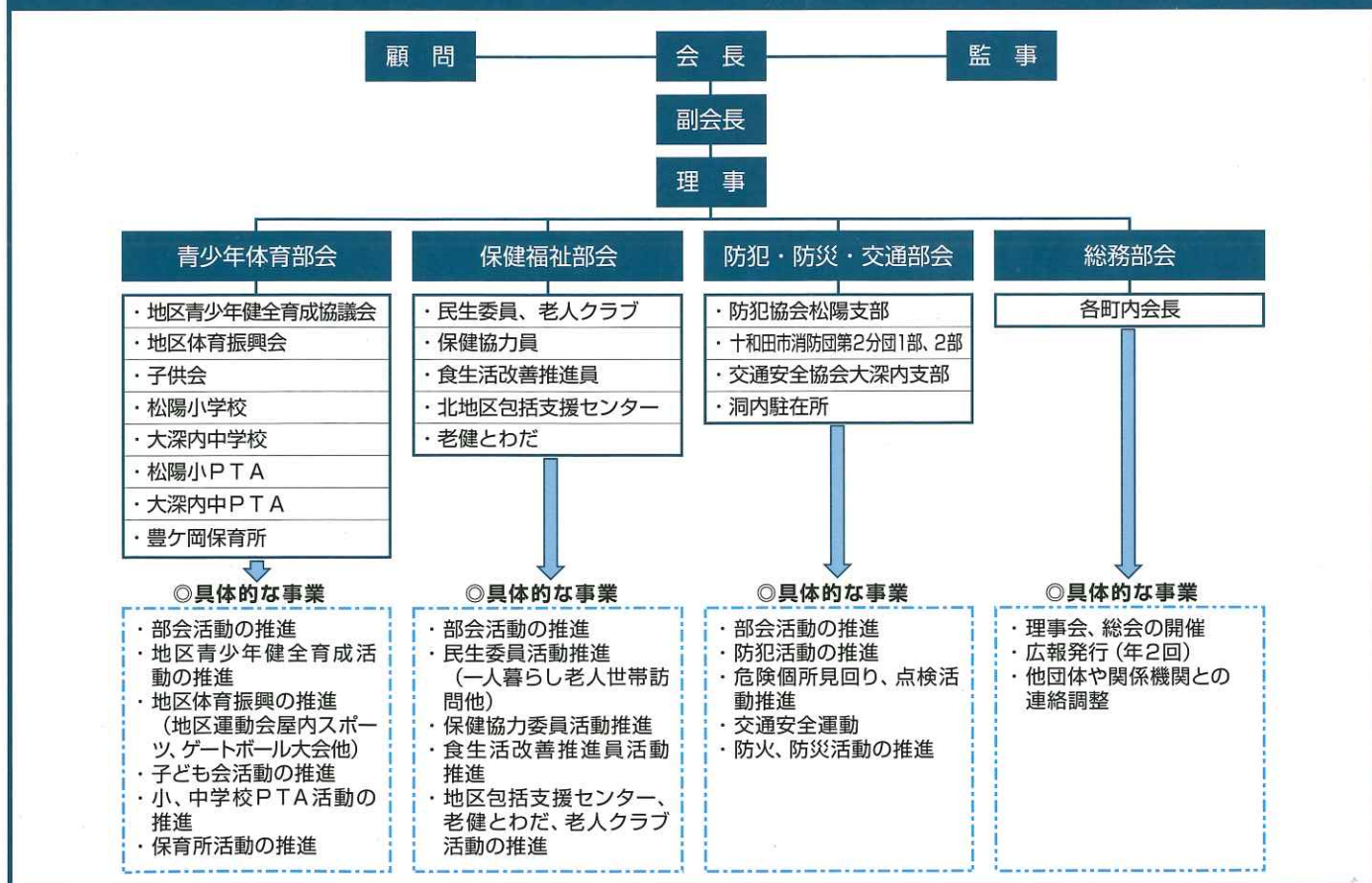
(1) 各町内会や団体等の活動は継続する。

松陽地区コミュニティ推進協議会役員体制

役職名	氏名	所属団体
会長	立崎 享一	立崎町内会長
副会長	大久保 安雄	東栄町内会長
理事	斗沢 康二	八斗沢町内会長
	柴田 廣輝	大崎町内会長
	中野 卓	清水町内会長
	伊沢 繁則	伊谷沢町内会長
	大下内 勝幸	豊ヶ岡町内会長
	母良田 俊徳	早坂町内会長
	佐々木りょう子	斗美沢町内会長
	大久保 義直	大下内町内会長
山端 一博	牛鍵町内会長	
総務部会長	会長兼務	
防犯、防災 交通部会長	母良田 博	防犯協会松陽支部長
青少年、 体育部会長	坂本 一磨	松陽地区体育振興会長
保健、 福祉部会長	甲田 隆博	民生委員
監事	山崎 勝晃	消防第1部部長
	山端 潤一	消防第2部部長
事務局長	立崎 和寿	元PTA会長
事務局次長	斗沢 信一	//
	甲田 勇一	PTA会長
顧問	薪堂 正一	松陽小校長
	藤森 裕之	大深内中学校長

- (7)(6) 健康増進、介護予防、保健福祉活動の推進
- (5) 安全運動の推進
- (4) 青少年健全育成活動の推進
- (3) 地区内の防犯、防火、防災、交通開催
- (2) 町内会対抗「軽スポーツ」大会の開催
- (1) (仮称)松陽地区ふれあいフェスタの開催(5年2月18日(土)予定)
(各団体や町内会などからの歌・踊り・演芸等で親睦を図る)
- (0) 松陽地区コミュニティだより(広報)の発行

松陽地区コミュニティ推進協議会組織図(案)



体育振興会の活動

地域ぐるみで健康と

体力づくりを目指して

松陽地区体育振興会

会長

坂本一磨



松陽地区体育振興会の会長になって2年目となります。体育振興会の活動は、地域住民の健康増進と相互の親睦を図りながら、地域ぐるみの体育、スポーツ振興に寄与することを目的に、松陽小学校運動会と一緒に「地区運動会」や「ゲートボール大会」の開催、更には「市総合体育大会及び屋内運動会」への参加など幅広い活動を実施してきました。

しかしながら、3年前から「新型コロナ」の感染が国内外に広がり、県内及び当市でもさらに感染が拡大し、様々な行事やイベント事業などが中止という異常事態となり、我が体育振興会も大きな打撃を受け、活動が出来ない状況になりました。この3年間は市の大会には参加できず、地区の運動会も規模を縮小しながらの大会になるな



ど本来の体育振興会の活動ができず、地域の皆さんには大変申し訳なく思っているところです。早く、コロナが収束し多くの皆さんが健康で、スポーツで交流し親睦が図れるように期待をしております。小学校が統合になっても体育振興会は洞内と統合することなく「松陽地区」で活動していきたいと思っていますので、地域の皆さんのご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

早く、コロナが収束し多くの皆さんが健康で、スポーツで交流し親睦が図れるように期待をしております。小学校が統合になっても体育振興会は洞内と統合することなく「松陽地区」で活動していきたいと思っていますので、地域の皆さんのご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

早く、コロナが収束し多くの皆さんが健康で、スポーツで交流し親睦が図れるように期待をしております。小学校が統合になっても体育振興会は洞内と統合することなく「松陽地区」で活動していきたいと思っていますので、地域の皆さんのご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。



令和4年度 松陽地区体育振興会役員		
役職名	氏名	町内会
会長	坂本一磨	早坂町内会
副会長	大久保利美	大下内町内会
	大下内保	//
監事	斗沢信一	八斗沢町内会
	立崎洋史	立崎町内会
	母良田茂樹	早坂町内会
事務局長	立崎貢大	立崎町内会

ふれあいの集い出演者募集募集

防犯協会の活動

十和田市防犯協会

松陽支部 支部長

母良田博



十和田市防犯協会松陽支部の今年度の活動内容を報告します。主な活動は次のとおりです。

- ① ニンクパトロール
- ② 大麻草の確認作業
- ③ 各月の防犯パトロール

さる、6月8日に十和田警察署において「にんにくパトロール出発式」に出席しその後松陽学区内で4日間パトロールを行いました。

今年度は山梨県、福島県で農作物の盗難があり、県内でもキャベツの苗、果樹の盗難被害が相継ぎました。松陽支部内ではニンクの盗難被害もなくパトロールの効果があったと思

置きつばなしの方も見られましたので管理の徹底をお願いいたします。大麻草の確認作業において



大麻草の確認作業において、年々発生個所が少なくなっています。けれども、大麻の種は眠っていて数年後発芽するらしいので確認作業は必要と思

いので確認作業は必要と思

今年度は2か所の確認作業を行いました。大麻草は確認されま

防犯パトロールは4月から12月までの管理は毎月です。戸締り、農作物の盗難被害は

今年度は山梨県、福島県で農作物の盗難があり、県内でもキャベツの苗、果樹の盗難被害が相継ぎました。松陽支部内ではニンクの盗難被害もなくパトロールの効果があったと思

置きつばなしの方も見られましたので管理の徹底をお願いいたします。大麻草の確認作業において

大麻草の確認作業において、年々発生個所が少なくなっています。けれども、大麻の種は眠っていて数年後発芽するらしいので確認作業は必要と思

大麻草の確認作業において、年々発生個所が少なくなっています。けれども、大麻の種は眠っていて数年後発芽するらしいので確認作業は必要と思

